

「2022年アルメーレ国際園芸博覧会」の概要

1 名称

2022年アルメーレ国際園芸博覧会（フロリアード2022）

2 国際園芸博覧会の分類

国際園芸家協会（AIPH）¹⁾が承認したA1クラス
BIE（国際博覧会事務局）²⁾認定

- 1) 欧州で園芸産業振興を目的とし、1948年に設立。A1クラスは開催規模が最大。
- 2) 国際博覧会条約に基づき、1928年に設立。BIEに承認された博覧会のみ、「国際博覧会」と位置付けられる。

3 開催地

オランダ王国アルメーレ市（アムステルダムから東に約30km）

4 開催期間

2022年4月14日（木）から2022年10月9日（日）まで（179日間）

5 開催テーマ

Growing Green Cities（成長する緑の都市）

6 参加国・入場者数

40か国、200万人

7 日本国出展事業概要

(1) 日本国出展テーマ

サトヤマファームガーデン
「SATOYAMA Farm Garden」

関東平野にみられる農家及び屋敷林をイメージし、屋敷地と農地、里地・里山が一体となった現代の花き園芸技術や花の文化を屋内・屋外トータルで展示します。

(2) 屋内展示テーマ

「花のある豊かな暮らしを都市の未来へ」

2週間ごとに出展者が入れ替わり、日本の優れた花き及び花き文化を一体的に展示します。本県は会期最終の10日間に「ジブリパークのある愛知の秋」を表現します。



日本展示館外観

「グロリオサ」「かがり弁ギク」の概要

1 グロリオサ

暑さに強く、華やかな花で、本県では、生産者が独自に開発した小ぶりの黄色、オレンジ色の品種を中心に栽培しています。

本県花き輸出の主力として、期待が高まっています。

2 かがり弁ギク

「かがり弁ギク」は、愛知県と国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構が開発した品種です。花弁の先端に複数の突起がある「かがり弁」と呼ばれる特徴を持つ珍しい品種で、白、赤紫、黄の3品種があります。



グロリオサ（ZEN）



かがり弁ギク（夢の煌めき白）